

地域密着型金融の取り組みについて（平成 20 年度）

項目	動機（経緯）	取組み内容	評価・今後の課題																																																																																										
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化																																																																																													
経営改善支援	<p>事業継承問題を抱えている取引先への支援としてM & Aの手法での取組みを実施しました。</p> <p>なお、経営改善支援の取組み実績は以下のとおりです。</p>	株式購入資金の支援。	<p>【評価】 初めてのケースであり、地域企業の課題解消の役割を担うことができ今後の取扱の足がかりとなりました。</p> <p>【今後の課題】 今回のM & Aは初歩的なものであり、仲介機能を発揮した本格的なM & Aのスキーム作りが課題です。</p>																																																																																										
【20年4月～21年3月】																																																																																													
(単位:先数) (単位:%)																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>期初債務者数</th> <th>うち経営改善支援取組み先数</th> <th>のうち期末に債務者区分がランクアップした先数</th> <th>のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数</th> <th>のうち再生計画を策定した先数</th> <th>経営改善支援取組み率</th> <th>ランクアップ率</th> <th>再生計画策定率</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>/A</th> <th>/</th> <th>/</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常先</td> <td>1,944</td> <td>0</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>要注意先</td> <td>180</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>16.7%</td> <td>16.7%</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>うち 要管理先</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>37.5%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>破綻懸念先</td> <td>59</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>28.8%</td> <td>11.8%</td> <td>58.8%</td> </tr> <tr> <td>実質破綻先</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>破綻先</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小計 (～の計)</td> <td>280</td> <td>50</td> <td>10</td> <td>40</td> <td>18</td> <td>17.9%</td> <td>20.0%</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,224</td> <td>50</td> <td>10</td> <td>40</td> <td>18</td> <td>2.2%</td> <td>20.0%</td> <td>36.0%</td> </tr> </tbody> </table>		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数	のうち期末に債務者区分がランクアップした先数	のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	のうち再生計画を策定した先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率	A					/A	/	/	正常先	1,944	0	/	0	0	0.0%	/	-	要注意先	180	30	5	25	5	16.7%	16.7%	16.7%	うち 要管理先	8	3	3	0	3	37.5%	100.0%	100.0%	破綻懸念先	59	17	2	15	10	28.8%	11.8%	58.8%	実質破綻先	23	0	0	0	0	0.0%	-	-	破綻先	10	0	0	0	0	0.0%	-	-	小計 (～の計)	280	50	10	40	18	17.9%	20.0%	36.0%	合計	2,224	50	10	40	18	2.2%	20.0%	36.0%			
	期初債務者数		うち経営改善支援取組み先数	のうち期末に債務者区分がランクアップした先数	のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	のうち再生計画を策定した先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率																																																																																				
	A					/A	/	/																																																																																					
正常先	1,944	0	/	0	0	0.0%	/	-																																																																																					
要注意先	180	30	5	25	5	16.7%	16.7%	16.7%																																																																																					
うち 要管理先	8	3	3	0	3	37.5%	100.0%	100.0%																																																																																					
破綻懸念先	59	17	2	15	10	28.8%	11.8%	58.8%																																																																																					
実質破綻先	23	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																					
破綻先	10	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																					
小計 (～の計)	280	50	10	40	18	17.9%	20.0%	36.0%																																																																																					
合計	2,224	50	10	40	18	2.2%	20.0%	36.0%																																																																																					

項目	動機（経緯）	取組み内容	評価・今後の課題
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
「目利き機能」の発揮に向けた取組み	取引先企業に対する経営相談・経営改善指導のできる人材育成が求められていることから、地域金融機関向けにカリキュラム構成された研修には積極的に参加しました。	平成 20 年度は以下のとおり参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県信用金庫協会主催「中小企業経営改善支援実務研修」 ・東北地区信用金庫協会主催「目利き力養成研修」 ・中小企業基盤整備機構主催「地域金融機関のためのビジネスモデル目利き講座」 受講対象者は、主に法人(事業所)を担当としている 渉外 監督職を中心に選抜派遣しました。	【評価】 16 年度以降については、毎年継続的に派遣しております。 【今後の課題】 受講者から営業店全体への知識の共有が課題です。
地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献			
地域活性化につながる多様なサービスの提供	当金庫・石巻専修大学・地元企業の産学の技術・ビジネスマッチング・情報交換の協力体制を推進し、連携して地域産業の活性化を目指しました。	平成 20 年度は以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ロード 11 コースの清掃活動実施 参加者：当金庫 石巻専修大学・石巻商業高校 総勢 312 名 ・観光から地域をつくる交流広場実施 テーマ「ウォーターフロント（水路）を生かした町づくり」 参加者 70 名 ・テーマ「金をめぐるロマンと歴史」 参加者 52 名 ・石巻専修大学研究助成金の交付と IS 研究助成発表会の実施 ・インターンシップ（石巻専修大生 2 名）実施 ・企業経営セミナー「平成 20 年度税制改正の焦点」 参加者 20 名 ・宮城県東部地域広域観光フォーラム 演題「魅力ある観光地域づくりと国内旅行の振興策」 参加者 320 名 	【評価】 地域全体が観光ムードとなっており、連携事業として観光をテーマとし取組みして、地域の観光業・飲食業等へインパクトを与えることができました。 【今後の課題】 石巻専修大学の連携事業は間接的に地域に密着した内容となっておりますが、直接的に実績として研究成果や地域産業の新商品開発などの効果がある事業とすることが課題です。

項目	動機（経緯）	取組み内容	評価・今後の課題
	<p>当金庫・石巻専修大学・地元企業の産学の技術・ビジネスマッチング・情報交換の協力体制を推進し、連携して地域産業の活性化を目指しました。</p>	<p>平成20年度は以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学連携窓口を各営業店に設置し、石巻専修大学・大学開放センターの紹介と産学連携への橋渡しを実施しました。 水産加工会社の数社より技術相談等の申込があり、大学への橋渡しが実現しました。 	<p>【今後の課題】</p> <p>産業の振興に直結しやすい産学連携を促進させることと、企業のニーズと大学のシーズを結びつける産学連携コーディネータの育成が課題です。</p>
	<p>営業力・技術力等の経営資源に乏しい中小企業が、変化する経済環境に対応していくためには、新分野へ積極的な挑戦と開拓が必要であり、このような背景をふまえ次世代経営者に交流と勉強の場を提供し次世代経営者の成長・発展、地元に貢献することを目的に考え若手経営塾を設立しました。</p>	<p>平成20年度は以下のとおり開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業視察実施 ・講演会等実施（テーマ） <ul style="list-style-type: none"> 「大競争時代における中小企業のマーケティング戦略」 「経営分析手法について」 「平成21年度以降の経営塾の運営方法について」 「金融機関における企業判断のポイントについて」 <p><特別企画></p> <p>山形しんきん NEW マネジメントクラブ 名刺交換会実施</p>	<p>【評価】</p> <p>経営者としてのマーケティング・経営分析手法などの研修会を実施し、経営者としての成長に貢献ができ、また年間行事6回を予定通り開催し、塾生(異業種)の交流の場を提供することが出来ました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>塾生主導型の経営塾運営に改善することが課題です。</p>